

競争ルールの検証に関するWG（第28回） ご説明資料

資料2-2

KDDI株式会社

2022年4月11日



目次

【第1部】

通信市場の動向及び端末市場の動向

【第2部】

事業法第27条の3の執行の状況

【第3部】

携帯電話端末の対応周波数の制限



【第1部】 通信市場の動向及び端末市場の動向



通信市場の動向

各社の取り組みによる市場環境の変化

MNOの接続料・卸料金の値下げによるMVNOの料金値下げや各社のオンライン専用プランの提供などにより**料金の低廉化が進展**加えて、**スイッチングコストの引き下げ等により**お客さまがより**サービスを選択しやすい環境に**

料金の低廉化

MNOの
接続料・卸料金
の値下げ



MVNOの
料金値下げ

「オンライン専用プラン」による
低廉な中容量プランの提供 など

スイッチングコストの引き下げ

eSIMの促進

SIMロックの原則解除

キャリアメール持ち運び

MNPワンストップ化の検討

既往契約における不適合条件の解消※

※「【第2部】事業法第27条の3の執行の状況」で詳述

弊社のブランド戦略（3つのブランド）

お客さまのご利用スタイルに応じた料金プランを3つのブランドで提供
5Gならではの体験価値を実感できる環境を早期に創り上げることで
マルチブランドでの5G利用を積極推進

おもしろいほうの未来へ。

au

安心の使い放題*1

シンプルを、みんなに。

UQ mobile

シンプル・お手頃価格

君にピッタリの自由へ、一緒に。

povo

トッピングで自由に選べる

*1 テザリングなどのデータ容量に制限あり。混雑時など通信制御あり

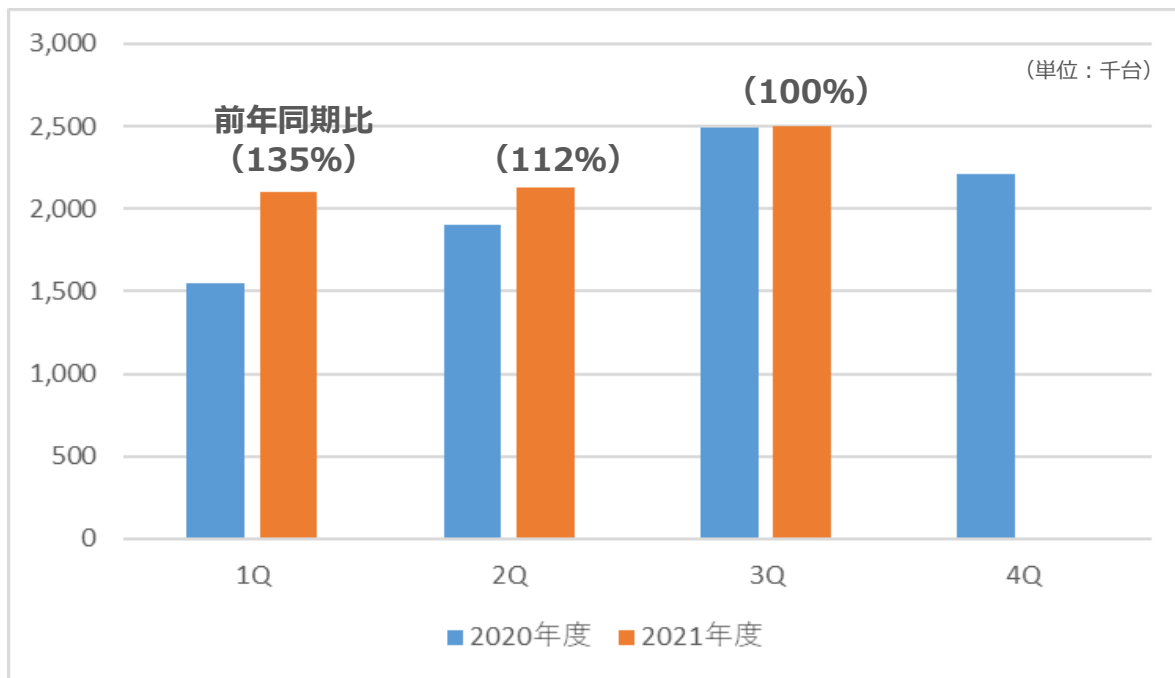


端末市場の動向

弊社の端末出荷台数の推移

2020年度の1Qは新型コロナウイルス感染症等の影響により
弊社の端末出荷台数は減少したが、その後、回復傾向。

端末出荷台数の推移



報告書2021以降も、低・中・高価格帯の端末が満遍なく選択されている状況

構成員限り

5G端末の販売台数

5G端末の販売台数は順調に増加し、**累計販売台数620万台**（2021年12月末）

5G端末 累計販売台数



弊社の5Gエリア構築状況

5Gエリアについては、お客さまの生活動線を重視し展開
2022年度の極力早期に人口カバー率90%を達成すべく努めております

お客さまの生活動線をカバー

鉄道



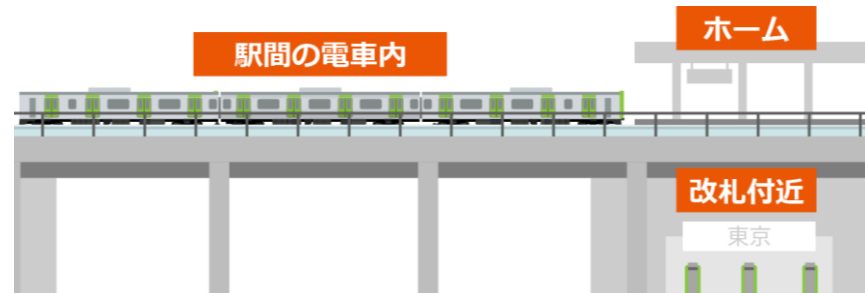
商業地域



ずっと、
もっと、
つながる。
au

エリア構築のこだわり

生活動線へのこだわり



通信品質のこだわり

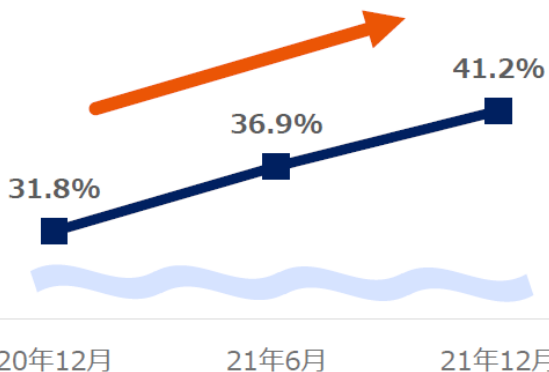
パケ止まりを抑制し、エリアを最大化する
基地局パラメータを設定

弊社の5Gサービスの提供状況

5Gで利用意向が高まる動画サービスをパートナー企業と連携し提供

動画サービス*利用意向

5Gにおける利用意向は着実に上昇



エンタメをリードする
OTTパートナーのサービスをさらに拡充

使い放題MAX 5G ALL STAR パック

NETFLIX

Apple Music

YouTube Premium

TELASA

amazon prime

DAZN

INVIDIA

GEFORCE NOW

POWERED BY

au

22年2月
対象サービス拡充

* KDDI調べ（アンケート調査） 国内5G利用者（他キャリアも含む）のうち、Amazonプライム/Netflix/DAZN/TELASAいずれかの「利用意向」がある割合
20年12月421名回答、21年6月1,272名回答、21年12月1,703名回答 注)5Gは一部エリアで提供

弊社の法人向け5Gの取組み

法人向けには「KDDI 5Gビジネス共創アライアンス」にて 5Gを活用したビジネスモデルを創出

5Gを支える
テクノロジー

MECの提供
au 5G ・ AWS

ビジネス
コラボレーション

KDDI 5Gビジネス共創
アライアンス
(2020/10/8設立)

世界で最も幅広く採用されるクラウド

5G情報提供・共創体験

パートナー 約1,000社

コラボレーションにより
AWS Wavelengthを
2020年12月から提供中



アセット・
パートナー

5Gに関する
アセットを
有するパートナー

端末 基地局設置

通信サービス

5G活用に有効な
各社のアセット/
ケバビリティを
集約・共有
事業機会の拡大

KDDI 5G

ビジネス共創アライアンス

5Gアセット マatching
提供 支援

KDDI

事業創発ワーキンググループ

5G事業の創発

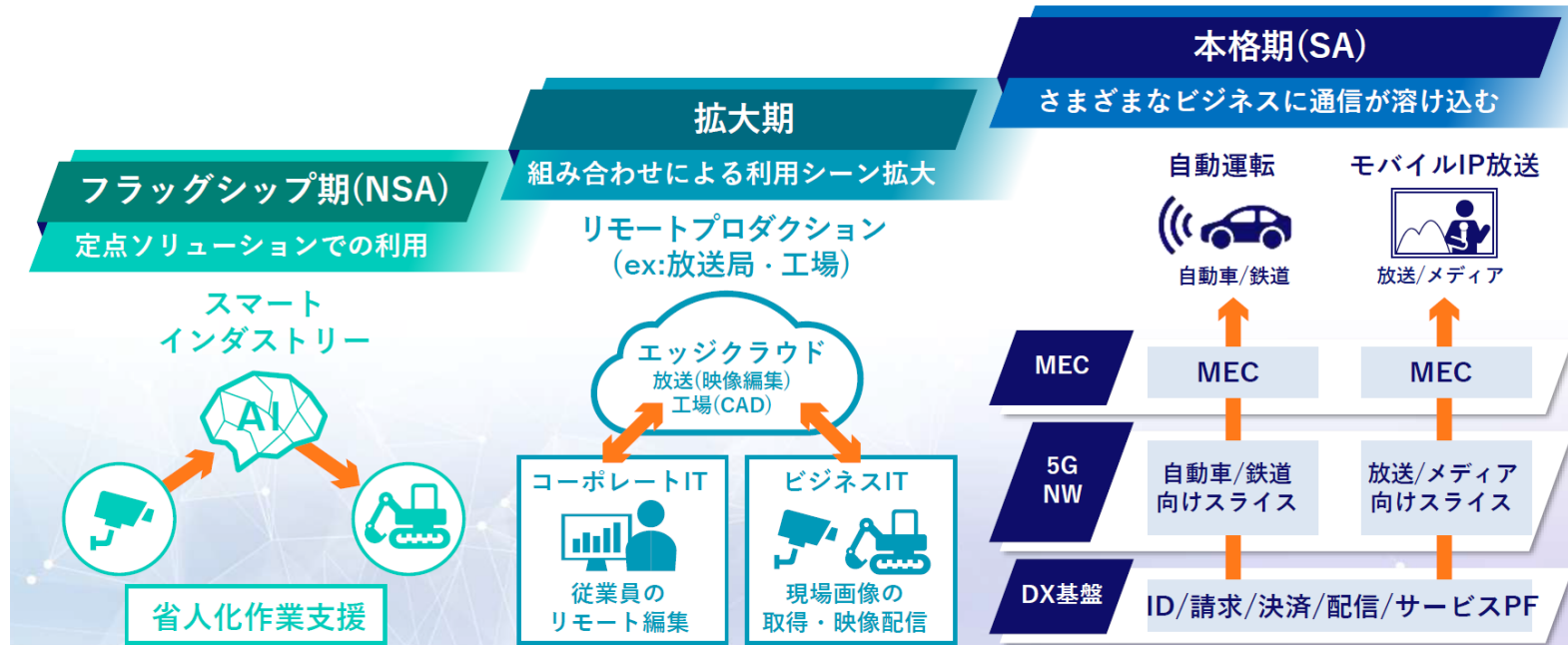
DXビジネス・
パートナー

5Gビジネス活用を
ご検討中の
パートナー

他企業との競争を
通じた社会的
インパクトの大きい
5G事業の創発が
可能に

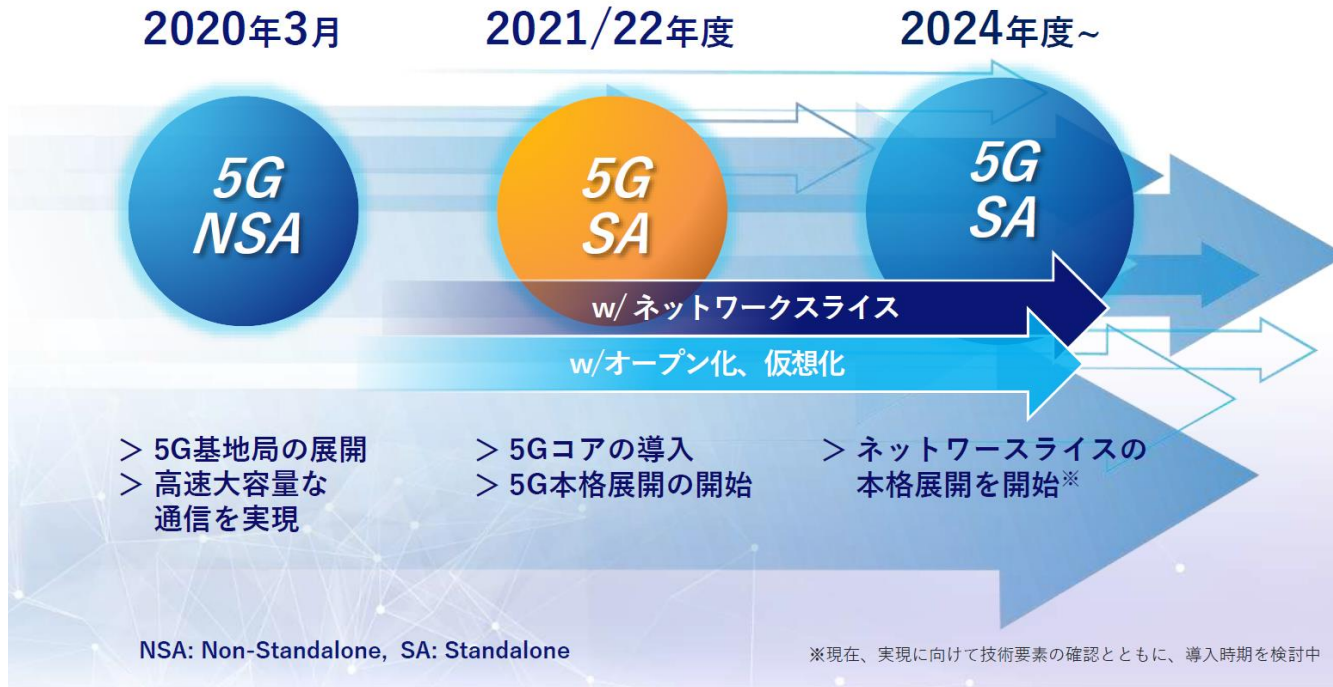
5Gビジネスモデルの想定

今後はさまざまなビジネスに通信が溶け込む時代
5GネットワークやMEC、DX基盤をお客さまにあわせて提供することで
お客さまのDXを支援し、お客さまの事業成長に貢献



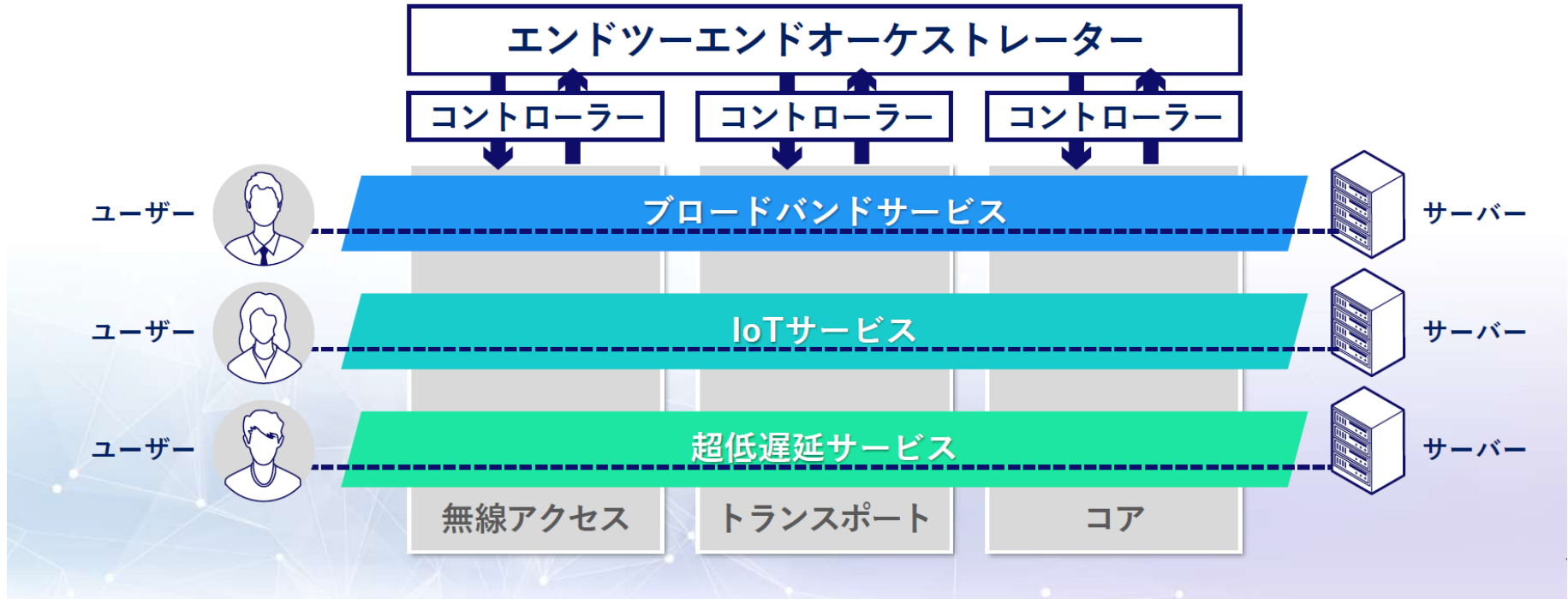
法人向け5Gの今後の展開

2022年2月21日、法人向け5G SA商用提供を開始 今後、ネットワークスライスの本格展開を開始予定



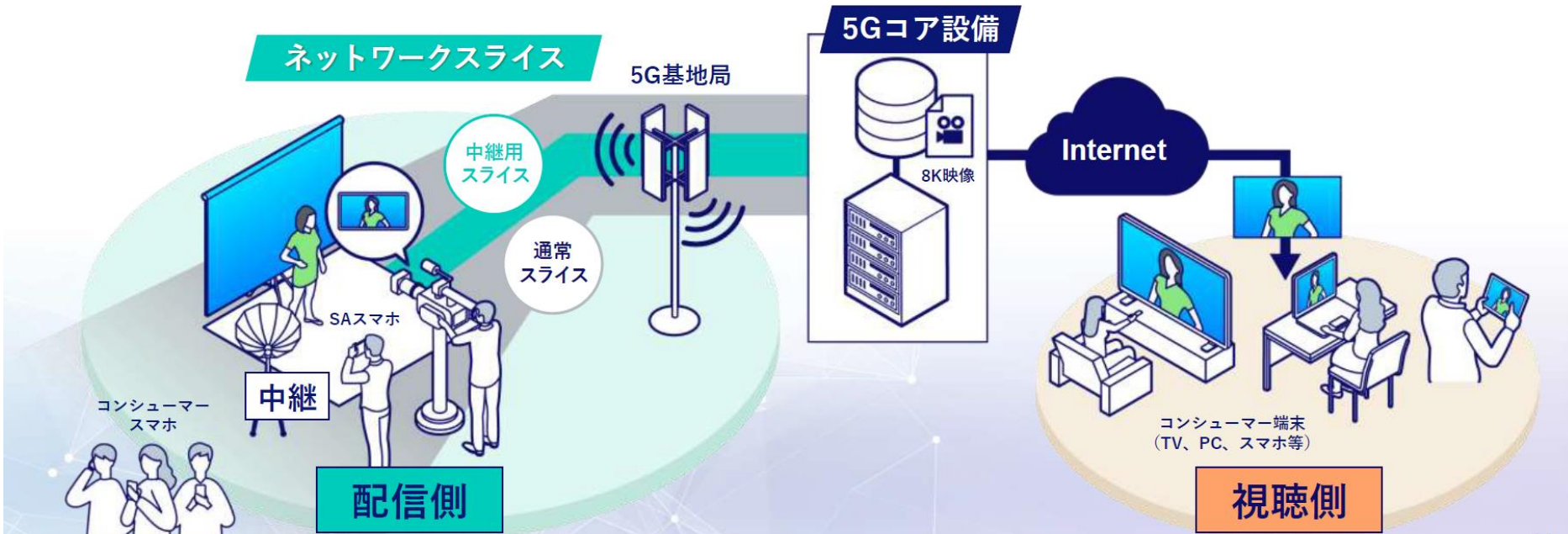
<参考> ネットワークスライシングとは

ネットワークの各種リソースを仮想的に分割し、
さまざまなユースケースに応じて、独立したネットワークを構築



＜参考＞映像中継×5G SA

5G SAの特長であるネットワークスライシングで 安定的な映像中継を配信



<参考> 映像中継×5G SAの例

5G SAで「ABEMA」生映像中継をLIVE配信 株式会社AbemaTVと、日本初の取り組みを実施

配信日時

2022年2月21日（月）20:30～21:30

番組スタートは19:00～

配信場所

東京都渋谷区「Abema Towers 1F」
公開スタジオ「UDAGAWA BASE」

配信番組

ABEMAMIX



5G SA商用環境下での映像中継試験時の模様

※日本初：動画配信事業者による5G SAの商用ネットワークとネットワークスライシングを利用した生中継。2022年2月21日時点、KDDI調べ。



ヒアリング事項への回答

通信市場の動向

	ヒアリング事項	回答
全体	<ul style="list-style-type: none"> 報告書2021以降、新たに実施した料金・サービスの見直し（料金の値下げ、新プランの開始、新たな割引メニューの開始、月間通信容量の増加等）は、どのようなものがあるか。 モバイル市場の現状についてどのように評価しているか。特に、報告書2021以降のモバイル市場の環境変化についてどのように捉えているか。 当該環境変化を踏まえた、戦略（料金、サービス等）、今後の見直しは、どのようなものか（複数の料金プラン・ブランドを提供する場合には、プラン・ブランド毎の戦略・狙い）。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告書2021以降、以下の新プラン等の提供を開始しています。 <ul style="list-style-type: none"> -2021年9月 2日 くりこしプラン +5G -2021年9月29日 povo2.0 例えば、くりこしプラン +5Gについては、4Gプランの料金と同額で提供しており、また、povo2.0については、トッピングを自由に選択できるオールトッピングプランとなります。 MNOの接続料・卸料金の値下げによるMVNOの料金値下げや各社のオンライン専用プランの提供などにより料金の低廉化が進展していると考えます。 加えて、スイッチングコストの引き下げ※等により、お客さまがよりサービスを選択しやすい環境になっていると考えます。 <ul style="list-style-type: none"> ※（例）eSIMの促進、SIMロックの原則解除、キャリアメール持ち運び、MNPワンストップ化の検討、既往契約における不適合条件の解消 弊社では、3つのブランドの特長を訴求し、多様なニーズや生活スタイルに寄り添った料金の提供に努めていくとともに、5Gならではの体験価値を実感できる環境を早期に創り上げることで、マルチブランドでの5G利用を積極推進し、新規契約者の増と5G拡充によるデータ利用増を目指しております。 <ul style="list-style-type: none"> -安心の使い放題のau -シンプル・お手頃価格のUQmobile -トッピングで自由に選べるpovo
音声通話料金	<ul style="list-style-type: none"> 報告書2021以降、音声通話料金について、どのような見直し（従量制料金や定額プラン、割引メニュー等）を行ったか。それに対する利用者の反応はどのようなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新プランとしてpovo2.0を2021/9/29より提供開始し、ご好評いただいております。引き続き、お客さまのニーズに応じた料金プランや割引メニューの提供を行ってまいります。
5G	<ul style="list-style-type: none"> 現在の5Gプラン、大容量プランの提供状況はどのようなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> 弊社では、上述の3つのブランドで5G対応を行っており、4Gプランの料金と同額の5Gプランを提供することで、5G利用を積極推進しております。 <ul style="list-style-type: none"> -au：使い放題MAX 5G、ピタットプラン 5G -UQmobile：くりこしプラン +5G -povo：povo2.0

ヒアリング事項		回答
全体	<ul style="list-style-type: none"> 報告書2021以降の端末販売の状況（販売台数の推移、価格帯別（低・中・高価格帯）販売台数の割合、チャンネル（店舗、オンライン）ごとの販売台数の割合）はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 端末出荷台数の推移、価格帯別販売台数はスライド7,8のとおりです。 チャンネルごとの販売台数の割合としては、オンラインが、 となっており、残りが店舗等となっております。 ※2021年10月～12月のau個人向け販売台数における比率
	<ul style="list-style-type: none"> 端末市場の現状についてどのように評価しているか。特に、報告書2021以降の端末市場の環境変化についてどのように捉えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 端末市場においては、2019年10月の改正事業法施行以降、低・中・高価格帯のいずれも、満遍なく選択されている状況が継続しております。なお、弊社の「スマホトクするプログラム」では、高価格帯の端末のみならず、低・中価格帯の端末も幅広く対象とすることで、さまざまな端末をお求めやすくしております。
最新端末の安値販売	<ul style="list-style-type: none"> 最新端末の安値販売が広く行われているという指摘があるが、iPhone13の販売台数と販売収入（あるいは1台当たりの平均割引額）を、例えば月別あるいは四半期別等で示していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> （別紙1）のとおりです。
	<ul style="list-style-type: none"> 通信・端末分離の下で、端末代金を大幅に割引くことについて、経営上の合理性があるとすれば、それはどのようなものか。また、経営の合理性がない場合、それでも大幅な割引をする理由は何か。 	

端末市場の動向（2/2）

ヒアリング事項		回答
5G	<ul style="list-style-type: none"> 報告書2021以降の5G対応端末の取扱い・販売状況はどのようなものか。特にミリ波対応端末についてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 弊社では、2022年3月時点で42機種の5G対応端末を取り扱っております。42機種のうち、5機種においては、ミリ波にも対応した端末となります。 販売状況としては、スライド9のとおりです。
	<ul style="list-style-type: none"> 5Gサービスの提供状況・計画（エリア、5Gならではのコンテンツ・アプリ）についてはどのようなものか。特にミリ波についてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 5Gの提供エリアについては、お客さまの生活動線を重視したエリア展開を進めており、2022年度の極力早期に人口カバー率90%を達成すべく努めております。
	<ul style="list-style-type: none"> 今後の5Gサービスについて、5Gならではのコンテンツ・アプリを含め、どのような利用シーンを想定しているか。特に、スマートフォンを利用した一般利用者に対するサービスの他に、想定している端末の形態、ビジネスモデルはどのようなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> 5Gサービスの提供状況は、5Gで利用意向が高まる動画サービス※についてパートナー企業と連携し提供しております。 ※NETFLIX、TELASA、DAZN など 法人市場では、現時点では製造業をはじめ、大容量の動画を扱う放送・メディアの5G利用が始まっており、端末としては5Gルーターが主に利用されております。今後、モジュールの低価格化が進めば、AGVなどロボティクスでの利用も広がることが想定されます。ビジネスモデルとしては、サービス事業に通信が溶け込み、5Gに加えてMEC、DXの基盤が連携し一体となって提供されていく姿を想定しております。
中古端末	<ul style="list-style-type: none"> 中古端末の取扱いの状況はどのようなものか。今後の見通しはどのようなものか。 既に中古端末の取扱いを開始している事業者においては、最近の取扱いの状況はどのようなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> 中古端末（au Certified）については、auは2021年2月16日から、UQmobileは2020年9月18日から取扱いを開始しており、一定の受容性があることを確認しております。 引き続き、中古端末の取扱いを行っていく予定です。

(別紙1) iPhone13の1台当たりの平均割引額

構成員限り



【第2部】 事業法第27条の3の執行の状況

事業法第27条の3 遵守のための弊社の取組み

電気通信事業法第27条の3の規律を遵守するため、 定期的に研修や説明会等の取組みを実施

弊社における 取組み

全社員研修

✓ 全社員に対して、事業法第27条の3の規律等について「**eラーニングによる研修**」を実施

営業研修

✓ 営業担当社員に対して、事業法第27条の3の規律等（ガイドライン改正や直近の動向なども含む）について「**eラーニングによる研修**」を実施

社内 説明会等

✓ 事業法第27条の3の規律に関連する社内関連部門の社員に対して、「電気通信事業法第27条の3等の運用に関するガイドライン」の内容及び改正内容に係る**説明会等**を実施

販売代理店への 取組み

販売代理店 研修

✓ 全販売代理店を対象に全スタッフに対して、**端末単体販売拒否が厳禁**であること、対照価格や利益提供可能額、利益提供が禁止される条件等を説明する「**eラーニングによる研修**」を実施

対照価格等 周知

✓ 本社営業部門で、直営店の端末販売価格（事業者の対照価格）及び利益の提供額について、機種別に表形式で作成。担当営業から、**対照価格の変更**が発生したタイミングで、メールにて**全代理店へ通知**

商談資料 改定

✓ **端末単体販売拒否が禁止**であることを販売代理店向けの**商談資料に記載**し、販売代理店と弊社営業社員との商談時に説明する等、端末単体販売拒否が起こらないよう**周知徹底**

※ 上記以外の取組みを含めた詳細は「（別紙2）規律遵守のための取組み状況」参照

従前より、①積極的な周知、②移行による契約解除料の免除、 ③魅力的な料金プランの提供、を軸に、改正法適合プランへの移行を促進 （2022年3月末までの対応）

①積極的な周知

契約更新を迎えるお客さまへの
メール／ハガキによる
改正法適合プランのご案内
※12月通知分をもって終了



契約解除料が1,000円となる2年契約Nに
対応した料金プランを提供しております。こ
の機会に料金プラン変更をご検討ください。

②移行による契約解除料の免除

不適合プラン（新規受付停止）から
適合プランへの移行は、
更新時期（契約期間満了）を待たず
いつでも契約解除料なしで切り替え可能



③魅力的な料金プランの提供

期間拘束なしの
シンプルかつおトクで魅力的な
料金プランの提供

au 使い放題 MAX 5G
使い放題 MAX 4G

poVo

UQ mobile くりこしプラン +5G

加えて、2022年3月31日をもってauとUQ mobileの契約解除料の廃止と
auの3G携帯電話向けサービスを終了することで
全ての不適合拘束条件を解消

契約解除料の廃止

2021年12月23日に周知

対象の割引サービスや料金プランを周知
2022/4/1以降の新たな割引も公表
(au PAY カードお支払い割)

■ 2021年12月23日 ニュースリリース

<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2021/12/23/5603.html>

3Gサービスの終了

2018年11月から周知開始

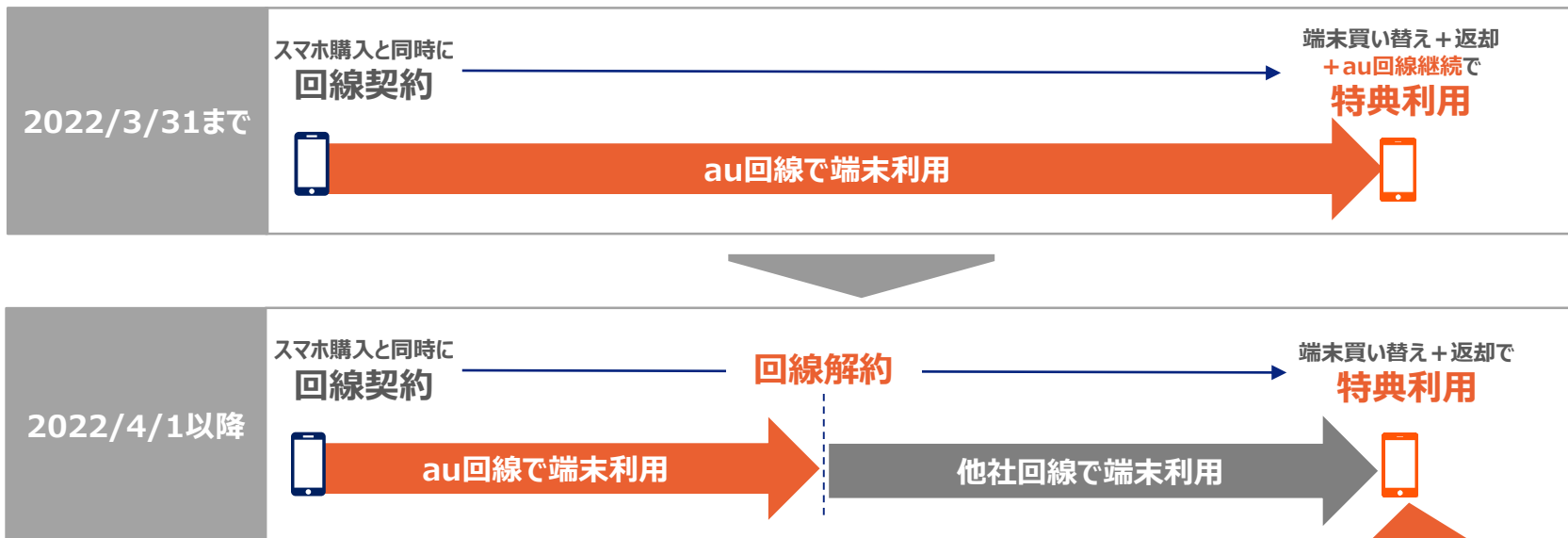
ご利用できなくなる機種や終了するプラン
を丁寧に説明

■ 2018年11月16日 ニュースリリース

<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2018/11/16/3428.html>

2022年3月31日をもって、旧端末購入サポートプログラム※の回線継続条件を廃止することで、**全ての端末購入サポートプログラムの不適合利益提供を解消**

※アップグレードプログラムEX/EX (a)、アップグレードプログラム（タブレット）、アップグレードプログラム（ジュニア）



回線解約後も特典※利用可能！
※分割支払金残額相当分のお支払いが不要



ヒアリング事項への回答

事業法第27条の3の執行の状況

	ヒアリング事項	回答
通信・端末の分離に係る規律の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 規律を遵守するために、貴社として具体的にどのような取組を実施しているか。 規律を販売代理店に遵守させるために、貴社として具体的にどのような取組を実施しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> （別紙2）のとおり、規律遵守のため、体制・システム等を整備するとともに、弊社社員及び販売代理店に対し、研修等を実施する取組を継続して実施しております。
既往契約の解消	<ul style="list-style-type: none"> 既往契約の解消のためにこれまでに実施した取組の具体的な内容及びその結果としての解消状況はどうなっているか（事業法第27条の3第2項第1号に適合しない契約及び同項第2号に適合しない契約それぞれについて）。 （既往契約が残存している場合）今後、解消を更に進めるために具体的にどのような取組を予定しているか（解消目標時期等）。 	<ul style="list-style-type: none"> 不適合拘束条件の解消に向けて、従前より、 <ol style="list-style-type: none"> ①契約更新に係る無料期間を迎えるお客様に対して、メールまたは更新通知ハガキでの更新のご案内に加えて改正法に適合したプランのご案内を継続して実施すること ②現行の料金プランから改正法に適合した料金プランへの移行について、更新月以外についても違約金なしで移行できるようにすること ③魅力的な料金プランを提供すること の3点を軸として改正法適合プランへの移行促進に努めてまいりましたが、2021年3月31日をもってauとUQ mobileの契約解除料を廃止しました。また、同日をもってauの3G携帯電話向けサービスを終了しました。これにより、2021年4月1日に全ての不適合拘束条件を解消しております。 不適合利益提供の解消に向けて、改正事業法施行前に提供していた旧端末購入サポートプログラムの特典（分割支払金残額相当分のお支払いが不要）を、au解約後もご利用いただけるよう、2022年4月1日に提供条件を改定することにより、全ての端末購入サポートプログラムについて、不適合利益提供の状態を解消しております。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 規律に関して課題と考えていることはあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者求められる報告項目が多く、また、複雑な内容の報告事項も多いため、事業者が報告するための作業に多大な時間と人員を要しており、非常に大きな負担となっています。 検証に必要な報告項目を真に必要なものに絞って頂くとともに、目的を終えた時点で報告の対象から外す、また、報告項目としていたものの、分析・検証に使用されないデータが出た場合には、速やかに報告の対象から外すなど、事業者の負担軽減に向け適宜見直しいただくことを、引き続き、要望いたします。

(別紙2) 規律遵守のための取組み状況

			概要	実施時期・頻度	今後の取組方針
(1) 弊社内の周知・教育等の取組み	研修	全社員研修	全社員に対して、事業法第27条の3の規律等について「eラーニングによる研修」を実施	19年12月	今後定期的に実施 (年1回実施予定)
		営業担当者研修	営業担当社員に対して、事業法第27条の3の規律等（ガイドライン改正や直近の動向なども含む）について「eラーニングによる研修」を実施	20年6月以降、半期に1回実施	引き続き、定期的を実施
		新任営業担当者研修	新たに営業担当となる社員に対する研修の一環として、事業法第27条の3の規律遵守のための研修を実施	20年10月以降、半期に1回実施	引き続き、定期的を実施
	説明会等	社内説明会等	事業法第27条の3の規律に関連する社内関連部門の社員に対して、「電気通信事業法第27条の3等の運用に関するガイドライン」の内容及び改正内容に係る説明会等を実施	19年9月以降、ガイドライン改正の都度実施	引き続き、ガイドライン改正の都度実施
(2) 販売代理店向けの周知・教育等の取組み	研修	販売代理店研修	全販売代理店を対象に全スタッフに対して、端末単体販売拒否が厳禁であること、対照価格や利益提供可能額、利益提供が禁止される条件等を説明する「eラーニングによる研修」を実施	20年6月以降、半期に1回実施	引き続き、定期的を実施
	運用	対照価格等周知	弊社直営店の機種別販売価格（弊社の対照価格）及び機種別の利益提供可能額※について、一覧を作成し、周知 ※弊社の利益提供額を除いた販売代理店側で利益提供が可能な上限額	19年9月以降、月次及び施策変更の都度実施	引き続き、月次及び施策変更の都度実施
		ガイドライン責任者設置	販売代理店に事業法第27条の3等の運用に関する「ガイドライン責任者」を設置して、弊社で「ガイドライン責任者」のリストを管理 「ガイドライン責任者」を中心に事業法第27条の3の規律遵守を推進	20年5月設置（以降継続）	引き続き、「ガイドライン責任者」を中心に事業法第27条の3の規律遵守を推進
(3) 体制・システム整備等の取組み	運用	外部機関等からの申告に対する運用	販売代理店の不適切なご案内に関する申告が弊社に寄せられた場合、速やかに営業部門に共有し、当該店舗に対して事実確認及び再発防止等を徹底する運用を実施	19年10月以降	引き続き、継続実施
		違反防止のシステム対応	事業法第27条の3違反となるような端末値引きの設定を行うとシステムが検知し、アラートが出る仕組みを店舗のシステムに実装	20年12月実装	引き続き、検知システムを用いて違反の防止に努める
		店舗監査	auショップ、au Style全店を対象とした店舗監査（従来より実施）において、監査項目として、「au回線契約以外のお客さまに対して『かえトクプログラム/スマホトクするプログラム申込』『端末単体販売』を拒否してはいけないことを全てのスタッフが理解し、徹底している。」という項目を新たに設定し、全店チェックを実施	21年7月以降、四半期に1回実施	引き続き、定期的を実施



【第3部】

携帯電話端末の対応周波数の制限

携帯電話端末の対応周波数

弊社に割当てられた周波数帯への対応を端末メーカーへ依頼
(弊社以外に割当てられた周波数帯への対応を弊社側で制限することはありません)

構成員限り

弊社端末の対応周波数の利用者への情報提供（1/2）

弊社が販売する端末について、他社割り当て周波数を含めて
対応状況をお客さまへホームページで情報提供

LTE (auの例)

機種名 \ 周波数帯	700MHz帯	800MHz帯	800MHz帯	900MHz帯	1.5GHz帯	1.5GHz帯	1.7GHz帯	2.0GHz帯	3.5GHz帯
	バンド 28	バンド 18/26	バンド 19	バンド 8	バンド 11	バンド 21	バンド 3	バンド 1	バンド 42
iPhone SE（第3世代）	○	○/○	○	○	○	○	○	○	○
iPhone 13 Pro	○	○/○	○	○	○	○	○	○	○
iPhone 13 Pro Max	○	○/○	○	○	○	○	○	○	○
iPhone 13	○	○/○	○	○	○	○	○	○	○
iPhone 13 mini	○	○/○	○	○	○	○	○	○	○
iPhone 12 Pro	○	○/○	○	○	○	○	○	○	○

- au端末の対応周波数に関する情報（グレー塗りつぶしはauが使用していない周波数帯）
https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/unlock/compatible_network/

弊社端末の対応周波数の利用者への情報提供 (2/2)

(UQmobileの例)

メーカー	機種	LTE								
		700MHz帯 バンド28	800MHz帯 バンド18/26	800MHz帯 バンド19	900MHz帯 バンド8	1.5GHz帯 バンド11	1.5GHz帯 バンド21	1.7GHz帯 バンド3	2.0GHz帯 バンド1	3.5GHz帯 バンド42
APPLE	iPhone SE (第3世代)	○	○/○	○	○	○	○	○	○	○
	iPhone 12	○	○/○	○	○	○	○	○	○	○
	iPhone 12 mini	○	○/○	○	○	○	○	○	○	○
	iPhone SE(第2世代)	○	○/○	○	○	○	○	○	○	○
	iPhone 11	○	○/○	○	○	○	○	○	○	○
	iPhone 7	○	○/○	○	○	○	○	○	○	○
	iPhone SE(第1世代)	○	○/○	○	○			○	○	
iPhone 6s	○	○/○	○	○			○	○		
LTE										
メーカー	機種	700MHz帯 バンド28	800MHz帯 バンド18/26	800MHz帯 バンド19	900MHz帯 バンド8	1.5GHz帯 バンド11	1.5GHz帯 バンド21	1.7GHz帯 バンド3	2.0GHz帯 バンド1	3.5GHz帯 バンド42
FCNT	arrows We	○	○/○					○	○	○
KYOCERA	BASIO4		○/-					○	○	
OPPO	OPPO A54 5G	○	○/○	○	○			○	○	○
SAMSUNG	Galaxy A21		○/○					○	○	
	Galaxy A41		○/-					○	○	
	Galaxy A20		○/○					○	○	
	Galaxy A30		-/○					○	○	
SHARP	AQUOS sense6		○/-	○				○	○	○
	AQUOS wish		○/-	○	○			○	○	
	AQUOS sense5G	○	○/-	○	○			○	○	○
	AQUOS sense3 basic	○	○/-	○	○			○	○	
	AQUOS sense3		○/-	○	○			○	○	

■ UQmobile端末の対応周波数に関する情報 (グレー塗りつぶしはUQmobileが使用していない周波数帯)
<https://www.uqwimax.jp/mobile/files/terms/syuuhasuutai.pdf>

auの動作確認端末の利用者への情報提供（1/2）

他社が販売する端末について、弊社サービスの動作確認状況をお客さまへホームページで情報提供

BALMUDA Phone A101BM

5G対応 au ICカード ○ ^

端末種別	スマホ	料金プラン	5G対応料金プラン
発売日	2021年11月26日	OSバージョン	Android 11

SIMの種類・動作確認済みのサービスなど

nano SIM ^

対応エリア※1	<input type="radio"/>	データ通信	<input type="radio"/>
通話	<input type="radio"/>	SMS	<input type="radio"/>
auメール※2	<input type="radio"/>	Eメール (Gmail等)	<input type="radio"/>

○：ご利用いただけます
△：一部ご利用いただけません
×：ご利用いただけません
-：対応していません

■ au動作確認端末一覧

<https://www.au.com/mobile/product/sim/devices/>

auの動作確認端末の利用者への情報提供（2/2）

らくらくスマートフォン F-52B		5G対応 au ICカード	
端末種別	スマホ	料金プラン	5G対応料金プラン
発売日	2022年2月24日	OSバージョン	Android 11
SIMの種類・動作確認済みのサービスなど			
nano SIM			
対応エリア*1	△	データ通信	<input type="radio"/>
通話	<input type="radio"/>	SMS	<input type="radio"/>
auメール*2	<input type="radio"/>	Eメール（Gmail等）	<input type="radio"/>

BALMUDA Phone A101BM

5G

端末種別 スマホ

料金プラン 5G対応料金プラン

発売日 2021年11月26日

OSバージョン Android 11

SIMの種類・動作確認済みのサービスなど

マルチSIM(nano)

対応エリア	<input type="radio"/>	データ通信	<input type="radio"/>
通話	<input type="radio"/>	SMS	<input type="radio"/>

○：ご利用いただけます
△：一部ご利用いただけません
×：ご利用いただけません
-：対応していません

■ UQmobile動作確認端末一覧

<https://www.uqwimax.jp/mobile/products/sim/devices/>

らくらくスマートフォン F-52B



端末種別 スマホ

料金プラン 5G対応料金プラン

発売日 2022年2月24日

OSバージョン Android 11

SIMの種類・動作確認済みのサービスなど

マルチSIM(nano) ^

対応エリア



データ通信



通話



SMS



SIMロック解除手続きに関する利用者への情報提供

弊社が販売する端末のSIMロック解除のお手続き方法について お客さまへホームページで情報提供

2021年10月1日（金）以降に新たに発売されたau携帯電話※1をご購入されたお客さまへ

ご購入されたau携帯電話に、SIMロックは設定されておりませんので、SIMロック解除のお手続きは不要です。

なお、機種ごとの対応周波数については、本ページ下部にある「SIMロック解除可能な機種の対応周波数帯一覧▼」よりご確認ください。

※1 2021年9月24（金）に発売されるiPhone 13シリーズ（iPhone 13 Pro、iPhone 13 Pro Max、iPhone 13、iPhone 13 mini）、iPad（第9世代）、iPad mini（第6世代）については、SIMロックの設定なしで販売致します。

2021年9月30日（木）以前に発売されたau携帯電話をご購入されたお客さまへ

2021年9月30日（木）以前に発売された機種をご購入された場合は、SIMロック解除の手続きが必要です。
本ページ下部にある「お手続き方法」をご確認の上、パソコン・スマートフォン或いは店頭にてお手続きください。

■ SIMロック解除のお手続き

https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/unlock/?aa_bid=we-we-ow-0799

携帯電話端末の対応周波数のルール化

各社の主要な周波数帯への対応をルール化することは、
お客さま利便は高まるものの、一般的には端末メーカーの**コスト増になる可能性**
ルール化については、端末メーカーへも確認の上、慎重な検討が必要

弊社の取組みとして、対応周波数のお客さまへの分かりやすい周知に努めます

想定される端末メーカー
の端末製造・
開発コスト

- ✓部材コスト
 - ✓評価コスト
 - ✓技適申請手続きに係るコスト
- ・・・など

お客さまへのご提供価格に影響



ヒアリング事項への回答

携帯電話端末の対応周波数の制限（1/2）

ヒアリング事項	回答
<p>対応周波数の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> • 端末メーカーから端末を調達する際、どのような手順や協議を経て対応周波数を決めていくのか。自社として必要と考え、実装を求める周波数帯（必須バンド）に加えて、必須とまで言えないが望ましい周波数帯（推奨バンド）などを示すのか。あるいは、端末メーカーから提案を受けるのか。また、具体的に発注する際の必須バンド・推奨バンド（あれば）について実際にどうなっているか。 • 端末を調達・発注する際、端末メーカーに対応を依頼した周波数以外に当該端末メーカーがどの周波数に対応するかについて、当該端末メーカーの判断に委ねていると理解して良いか。 • 上記理解が正しい場合、端末メーカーが納入する端末について、他社（のみ）に割り当てられた周波数にも対応するものを製造することについて、特に問題ないと考えているか。仮に問題があるとすればどのようなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 弊社から端末メーカーに対して、弊社に割り当てられた周波数帯（バンド）への対応を依頼しております。 <ul style="list-style-type: none"> • ご認識の通り、弊社から端末メーカーに対しては、弊社に割り当てられた周波数帯(バンド)への対応を依頼しており、弊社以外に割り当てられている周波数帯（バンド）を搭載するか否かについて、弊社側で制限を行うことはございません。 <ul style="list-style-type: none"> • 問題はございません。
<p>対応周波数の差による利用者目線のメリット・デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> • 他社の周波数にも広く対応した端末と、自社の周波数を中心に対応した端末（他社の周波数には十分に対応していない端末）について、利用者目線から見たメリット・デメリット（乗換えのしやすさ、通信性能、コスト等）はどのように考えているか。 	

携帯電話端末の対応周波数の制限 (2/2)

ヒアリング事項		回答
利用者への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 端末の販売に当たり、利用者が事業者を乗り換え、他社回線を用いたサービスを利用しようとしても、通信に一定の制限等がかかる可能性があることについて、これまで利用者にとってどのような情報の提供を行っているか。(販売時の個別説明からHP等での周知まで、網羅的にご回答下さい)。 他社が販売した端末を用いて自社に乗り換えようとする利用者に対して、特に周波数の対応の有無による影響について、どのような情報の提供を行っているか(同上)。 	<ul style="list-style-type: none"> 弊社が販売する端末を他社網でご使用される際のご注意事項としては、端末の対応周波数帯(バンド)やSIMロック解除方法に関する情報を掲載した弊社ホームページ内にて周知しております。具体的には、au以外のネットワークで利用する場合については、端末の動作保証を行うものではない旨や、サービス・機能・アプリケーション・コンテンツの利用などが制限される場合がある旨を記載しております。 なお、店頭販売においても、お客様からご質問があれば口頭にてお伝えさせていただいております。 <ul style="list-style-type: none"> ■ au携帯電話などの対応周波数帯一覧 https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/unlock/compatible_network/ ■ UQ mobile携帯電話などの対応周波数帯一覧 https://www.uqwimax.jp/mobile/files/terms/syuuhasuutai.pdf ■ SIMロック解除のお手続き https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/unlock/?aa_bid=we-we-ow-0799 他社が販売する端末をKDDI網でご使用される際のご注意事項についても、弊社の動作確認端末に関する情報を掲載した弊社ホームページ内に記載して周知を図っております。 <ul style="list-style-type: none"> ■ au動作確認端末一覧 https://www.au.com/mobile/product/sim/devices/ ■ UQ mobile動作確認端末一覧 https://www.uqwimax.jp/mobile/products/sim/devices/
具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> 総務省消費者センターに寄せられた意見を踏まえて、どのような改善策が考えられるか。 携帯電話端末について、例えばブラチナバンドなど、キャリア全社の主要な周波数帯に対応することがルール化又は業界標準化されることについて、メリット・デメリットを含め、どのように考えるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 各社の主要な周波数帯への対応をルール化することは、お客さま利便は高まるものの、一般的には端末メーカーのコスト増になる可能性があり、お客さまへのご提供価格に影響することが懸念されるため、十分な検討が必要であると考えます。 端末製造・開発コスト等は、部材コスト、ENDC (E-UTRAN New Radio-Dual Connectivity)対応に係る開発コスト、評価コスト、及び技適申請手続きに係るコスト等が相応に必要となることが想定されますが、詳細については各端末メーカーにご確認が必要だと考えます。 弊社の取組みとして、対応周波数のお客さまへの分かりやすい周知に努めます。

Tomorrow, Together

KDDI